

# 新形状の刈刃で堤防除草作業事故を防止

## 北陸パブリックメンテナンス

北陸パブリックメンテナンス(新潟市、富樫孝司社長)が考案した堤防除草作業で使用する肩掛け式除草機械への新形状の刈刃の採用が、事故防止や騒音・振動の軽減、作業員の負担減など、多くの改善に貢献したとして、北陸地方整備局阿賀野川河川事務所主催の施工研究発表会で高い評価を得た。

### 北陸整備局 施工研究発表会で高い評価

採用した刈刃は、日光した堤防除草作業で使用した刈刃は畑などの除草者によると、新たに使用した刈刃は畑などの除草用で、堤防除草に従事する作業員の安全性や負担軽減に役立つ刈刃をインターネットで見つけたという。

研究発表会では、同事務所の幹部や除草作業を請け負った実績のある企業から「ちょっととした創意工夫が大きな改善につながる典型的な事例であり他の現場での採用が期待できる」「考案の経緯を教えてください」「うちでも使いたいのので詳細を知りたい」などの質問が寄せられるなど大きな反響があった。北陸パブリックメンテナンスの担当



ミラクルパワーブレードの刃先①と②一般に使用されているチップソーの刃先

# 北陸

## 北陸総局

〒951-8066  
新潟市中央区東堀前通  
一番町343(東堀ビル)  
電話 025-229-5411  
FAX 025-229-5412  
hokuriku@decn.co.jp

### 5社が事例報告

北陸整備局阿賀野川河川事務所  
施工研究発表会

北陸地方整備局阿賀野川河川事務所幹部と地元建設会社、コンサルタント会社などで組織する工事安全対策協議会は18日、新潟市の新津市民会館で施工研究発表会を開

肩掛け式除草作業



少なく危険なキックバックが起こりにくいなどチップソーより優れた特徴が多くあることが確認できたという。

北陸パブリックメンテナンスの担当者は「肩掛け式除草作業は危険要素が複数あり事故の発生例も多い。その理由として、通常のチップソーの切れ味が悪くなると、エンジンの回転数を高めて刃を振り回してたたきつけるような刈り方をする。こうした行為が事故につながっていたが、新刃の使用はこうした問題の解決につながっている」と話している。

阿賀野川河川事務所も「事故防止につながる有効な提案だ。管内の除草作業に広く活用していきたい」との考えを示した。

出川約4・6mの直轄管理区間の堤防法面、高水敷の除草作業に使用する肩掛け式の除草機の刈刃を、従来のチップソーからミラクルパワーブレードに変更して作業を行ったもらった感想を集計した結果が報告された。それによると、ミラクルパワーブレード使用では、▽飛び石が起きにくく刃割れも少なく粉砕くずの飛散も減った▽低回転で作業できるため騒音・振動が少なく燃料の消費量も減った▽チップが摩擦しても切れ味が落ちず振動も少ない▽草に強くあたる必要がなく疲労が少くない▽刃先のかみこみが

Kプランニング、興和、坂詰組の5社が受注した工事・業務で取り組んだ創意工夫事例について発表した。

工事・業務名と発表事例のタイトルは次の通り。

▽北陸パブリックメンテナンス(阿賀野川堤防除草作業) 堤防除草作業の肩掛け式除草機における新形状の刈刃の使用

▽遠藤鋼機(平成20年度水閘門等点検整備作業) 水閘門等点検作業における身近な安全対策

▽SKプランニング(馬取沢および下宮沢地形測量作業) 同作業における安全対策と品質の向上

▽興和(松坂集水井

〈W16〉その他(工事) 同工事における施工管理

▽坂詰組(大和水辺の築校整備他工事) 同工事の環境保全